

# 1. 調査報告概要表

## 【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年9月9日

### 【評価実施概要】

事業所番号	2774600429
法人名	医療法人 養心会
事業所名	グループホーム第2ひだまりの家
所在地	柏原市旭ヶ丘4丁目8-3 (電話) 072-977-2842
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 8月 28日

### 【情報提供票より】(平成 20年 7月 31日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 8月 1日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	23人	常勤	18人, 非常勤 5人, 常勤換算19.79人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨ALC造り
	2階建ての 1階～ 2階部分 ・ 1階建ての 1階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	18,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250円	昼食	550円
	夕食	550円	おやつ	2回/日 150円
	または1日当たり 円/1ヶ月当たり45,000円			

#### (4) 利用者の概要 (平成 20年 7月 31日現在)

利用者人数	22名	男性	4名	女性	18名
要介護1	4名	要介護2	7名		
要介護3	7名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 81歳	最低	67歳	最高	98歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	国分病院、中西医院、山根歯科医院
---------	------------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域に定着した精神科系の医療法人が運営するグループホームで、母体病院や同一法人の老人保健施設がバックアップしています。「認知症の状態にあっても、一人の人としてその人格を認め、その意思を尊重して、個々に有する能力に応じた自立した日常生活を支援すること」を理念とし、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。職員は重度化している利用者一人ひとりの思いを大切にする支援を心がけ、言葉かけや態度は明るくやさしい雰囲気です。利用者は医療連携している母体病院の医師と看護師による適切な医療と看護を受けています。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。職員はケアプランの支援目標の実行を毎日チェックし、計画作成担当者は毎月「サービス実行モニタリング記録表」で評価してケアプランの見直しにつなげています。また利用者は平均して週3回の入浴ができるようになり、運営推進会議については2ヶ月毎に開催されるようになっています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価については、3人のリーダーが作成した原案を職員全員参加の定例会で議論をして完成させ、認識の共有化を図り、サービスの具体的な改善に取り組みようとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は柏原市職員、地域包括支援センター職員、老人会会長、家族、利用者の参加のもとで、おおむね2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況、利用者の生活ぶり、食事の献立内容等について説明し、町会や老人会の活動状況の説明も受け、意見を交わして地域との相互の理解を深めています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。利用者の暮らしぶりを紹介した月刊「陽だまりだより」を発行し、家族の訪問時に手渡ししています。家族とは面会時だけでなく、ケアプラン作成時にも話し合い、家族の思いや希望、不満を現せるように対応しています。ホーム内にはご意見箱も設置しています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホーム敷地内にある庭園の管理を隣人の植木屋へ依頼したり、同じ敷地内にあるテニスコートの管理を隣人に委託したりして地域の人に開放しています。地元の盆踊りに出かけたり、秋祭りのだんじり巡回時に立ち寄りもらったり、隣のぶどう園でぶどう狩りをさせてもらうこともあり、地域の人と交流を図っています。地域の河内音頭や歌体操のサークルの人達をボランティアとして受け入れ、また小学生や中学生の体験学習の受け入れもしています。

## 2. 調 査 報 告 書

(        部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「認知症の状態にあっても、一人の人としてその人格を認め、その意思を尊重して、個々に有する能力に応じた自立した日常生活を支援すること」を理念とし、重度化している利用者一人ひとりの思いを大切にす支援を心がけ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を明文化し掲示しています。職員全員が参加する月例の定例会や日々の業務等を通じて理念を共有し、理念に沿った介護サービスの実践に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	<p><b>○地域とのつきあい</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている</p>	<p>ホーム敷地内にある庭園の管理を隣人の植木屋へ依頼したり、同じ敷地内にあるテニスコートの管理を隣人に委託したりして地域の人に開放しています。地元の盆踊りに出かけたリ、秋祭りのだんじり巡回時に立ち寄ってもらったり、隣のぶどう園でぶどう狩りさせてもらうこともあり、地域の人と交流を図っています。地域の河内音頭や歌体操のサークルの人達をボランティアとして受け入れ、また小学生や中学生の体験学習の受け入れもしています。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p><b>○評価の意義の理解と活用</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。職員はケアプランの支援目標の実行を毎日チェックし、計画作成担当者は毎月「サービス実行モニタリング記録表」で評価してケアプランの見直しにつなげています。利用者は平均して週3回の入浴ができるようになり、運営推進会議が2ヶ月毎に開催されるようになってきました。自己評価については、3人のリーダーが作成した原案を全員参加の定例会で議論をして完成させ、認識の共有化を図り、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は柏原市職員、地域包括支援センター職員、老人会会長、家族、利用者の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況、利用者の生活ぶり、食事の献立内容等について説明し、町会や老人会の活動状況の説明も受け、意見を交わして地域との相互の理解を深めています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当職員とは常に相談や情報交換を行ってサービスの向上に取り組んでいます。行政が主催する柏原市内の地域密着型対応施設の管理者会議に出席しています。また市が派遣する介護相談員も受け入れています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。利用者の暮らしぶりを紹介した、月刊紙(誌)「陽だまりだより」を発行し、家族の訪問時に手渡ししています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時だけでなく、ケアプラン作成時にも話し合い、家族の思いや希望、不満を現せるように対応しています。ホーム内にはご意見箱も設置しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員数が利用者数とほぼ同じ割合であり、職員の異動もほとんどなく、利用者は馴染みの職員による支援を受けています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に対する取り組みは熱心で、認知症をはじめ各種の外部研修に参加しています。また職員が輪番制で自主的にテーマを決めて発表し、月例の勉強会では伝達研修も実施しています。ホームでは職員が介護福祉士の資格取得ができるよう支援し、資格取得者数が毎年増加しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	柏原市が主催する地域密着型対応施設の管理者会議に出席したり、近隣のグループホームでの職員の研修会や利用者の交流会に参加したりしています。その他に大阪認知症高齢者グループホーム協議会にも加入して、他事業所との交流や情報交換を行い、サービスの質の向上を目指しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<b>○馴染みながらのサービス利用</b> 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	同法人の老健職員とホームでの受け入れ方について協議した後、利用者の入居を決めています。またホームの職員が家庭訪問したり、利用者や家族がホームに来訪しホームでの生活を体験する等して、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居しサービスを受けられるように取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。裁縫の得意な方、絵や書道の得意な方等、利用者の得意分野で、家事や行事の機会を通して学び支えあう関係を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時には家族や利用者から聞き取りを行っています。しかしその後の職員によるアセスメントの見直しは心身の状況に重きをおき、入居後の毎日の生活を通じて得られた利用者の生活歴や暮らし方の意向など、新たな気づきの記録と見直し・整理が十分でなく、利用者一人ひとりの暮らしや楽しみ方の希望が十分把握できていない状況です。	○	毎日の生活を通じて得られた利用者の生活歴や暮らし方の意向など、新たな気づきを記録し、また見直し・整理を行い、日々のケアや暮らし、楽しみに生かしていくことが求められます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや願い、心身の状況を把握するとともに、医師の意見、家族の意向を反映させ、介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には3ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。職員はケアプランの支援目標の実行を毎日チェックし、計画作成担当者は毎月「サービス実行モニタリング記録表」で評価してケアプランの見直しにつなげています。ケアプランは職員の意見と家族の希望を織り込んで完成させています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者は医療連携している母体病院の医師と看護師から適切な医療と看護を受けています。家族の依頼により、必要の都度通院介助も行っています。地域から河内音頭や歌体操等のボランティア支援も受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体病院の医師による往診医療を受けていますが、診療科目によっては入居以前の、かかりつけ医療機関から引き続き医療を受けています。母体病院と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から利用者や家族の意向を聞き、状況の変化とともに、利用者と家族、医師、ホームとの話し合いを行い意向の確認を続けていく予定です。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。前回外部評価で示されたトイレ入口に扉を取り付けることについては、目隠しカーテンを設置済みです。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。重度化している利用者のペースに合わせて、朝食の時間や入浴の時間を柔軟にしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	例外はありますが、昼食は調理済みの食材を厨房より取り寄せ、朝、夕食は取り寄せた生食材をホームで調理しています。利用者の希望も入れた献立表に従い、食事準備、下ごしらえ、調理、盛り付け、後片付け等の一連の作業に利用者も得意な分野で積極的に参加しています。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	前回の外部評価で示されて以降改善がすすみ、週3回程度の入浴ができるようになっています。また毎日入浴を楽しむ利用者もいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で生活リハビリの一环として、家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。得意な絵や書道作品をホームに飾ったり、雑巾縫いなどの裁縫をしたりして楽しめる利用者、厨房に食材を取りに行ってもらったり、特別に掃除の好きな利用者、廊下をふいたり洗濯物を取り入れに行ってもらおう等、それぞれの役割があります。さらに毎週カラオケを楽しんだり、ボランティアと一緒に河内音頭を踊ったり、歌体操をしたりして日々の生活を楽しんでいます。また庭の果物の収穫を楽しまれる利用者もいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺の散歩や買物を楽しみ、地域の祭りやぶどう狩り、初詣、季節毎の花見、近隣地域の大衆演劇の観劇、河内音頭の盆踊りの会にも出かけ楽しんでます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の時間帯は、玄関やフロアのドアを開錠しています。職員の見守りで利用者は自由に外出ができるようになっています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルが作成され、年2回避難訓練を実施し、1回は消防署の指導のもとで実施しています。食料と水の備蓄については冷蔵庫や冷凍庫、収納庫に在庫があり、最低限の量は確保しています。備蓄について「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成されてはいかがでしょうか。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者全員の一日の食事摂取量と水分摂取量を記録し把握しています。栄養バランスについては、母体病院の管理栄養士のアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物周辺には広い庭園があり、季節毎に花や果実のなる木が植えられています。玄関周りにも季節の花、植栽があり、観葉植物、装飾品や絵画も飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。庭園の緑を背景にしたリビング兼ダイニングルームは広くゆったりとして、テレビの前にはソファや椅子が置かれ、廊下にもソファやベンチもあって居場所が確保されています。壁には手作り作品が飾られ、生活感のある落ち着いた雰囲気になっています。ただ、利用者が重度化していて難しいテーマですが、より季節感の感じられる雰囲気とするため、なお一層の工夫をすることが望まれます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の状況により、家具類の持ち込めない居室もありますが、居室には利用者が持ち込んだベッド、タンス、ドレッサー、収納ケース、ソファ、椅子、飾り棚、鏡台、仏壇、装飾品、家族の写真等、使い慣れた馴染みの古い物や生活用品を持ち込み、利用者が安心して過ごせる場所となっています。		